

企業紹介

“真のモノ創り”で、 工具を進化させる

TOP トップ工業株式会社

代表取締役 渡辺 一郎
〒955-8678 三条市塚野目2190-5
TEL(0256)33-1681 FAX(0256)34-7617
URL <http://www.toptools.co.jp/>

業 種：作業工具製造
資本金：1億5,000万円
事業内容：作業工具の製造・販売

レンチやプライヤー、電動ドリル用ソケットなど作業工具を製造、販売するトップ工業(株)。同社の強みは、新商品の開発力と高品質の追求、豊富な品揃え、そして技術力にある。30年前から取り組んでいるエンドユーザーの声を生かした製品づくりは、「トップならなんでも揃う」という総合作業工具メーカーとしての安心感や信頼感を利用者に与えている。

国内および海外からも高い評価

同社の創業は、昭和14年。江戸時代からの鍛冶技術を受け継ぐ三条市で、建設現場や製造現場では欠かせない作業工具を製造してきた。得意とするのは、ボルトやナットなどの締め付けや取り外しに使うレンチ。昭和26年には、同社のモンキレンチがJIS（日本工業規格）取得の第1号になったほか、モンキレンチの上アゴと下アゴのガタつきを解消する技術、アルミなど新素材を使用した軽量レンチの開発など、その開発力と技術力は、国内のみならず広く海外からも高い評価を受けている。

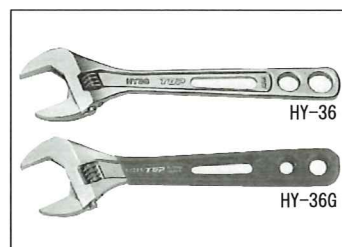


▲「豊富な品揃えは当社の強み」と語る渡辺社長

性能の優れた付加価値の高い製品づくり

また、同社の強みは品揃えの充実にもある。取扱い製品は約2000種類にも及ぶが、そのなかでも、同社が特に力を入れているのが、プロ向けの製品。現場では使用目的ごとに大きさや重さの異なる工具が求められる。同社は、そうしたプロのニーズに応え、厳しい目にも耐えられる性能の優れた付加価値の高い製品を製造している。

一方、「エンドユーザーの視点に立った製品づくり」を30年も前から取り組んでおり、工具1丁でも要望があれば特注で製造する姿勢を貫いてきた。現在でも、全国10箇所にある営業所では、各担当者が積極的に小売店やエンドユーザーの元に足を運び、同社の製品の使い勝手やサイズ、重さの要望などを聞き、集めた情報を元に、利用者が使いやすい製品の開発を進めている。



▲薄型軽量ワイドモンキレンチ「エコワイド」

エンドユーザーの要望に合わせた製品を揃える

同社が、こうした高い開発力、技術力を持つ背景には「設計・金型・鍛造・熱処理を自社で一貫生産していることと、金属加工が集積する三条地域の連携にあります」と渡辺社長は言う。鍛造は、素材の微妙な厚さ、叩き具合、加熱具合によって、製品の強度が全く異なってしまふ。だからこそ、同社では、この工程を内製化することで、品質を維持するとともに、微妙な調整や改良・改善を迅速に行う。また、金属加工の裾野が広い三条地域だからこそ、技術的に困難な注文でも地域で連携しながら対応できるのだ。「例え生産効率が悪くても、エンドユーザーの要望に合わせた製品を揃える。それが他との差別化につながります」と渡辺社長は語る。こうしたなか、平成20年10月末には3階建ての新倉庫が完成。収容規模も従来の倉庫よりも3割アップし、豊富な製品を迅速に出荷できる体制をさらに強化する。



▲折れにくい電動ドリル用ソケット